

| | | | |
|--------|---|---|---------|
| 本時の位置 | 5 / 18 | 評価規準 | 数学的な考え方 |
| 本時のねらい | 「一つ分」×「いくつ分」=「全部の数」の乗法の立式を確実にできるようになるとともに、乗法の答えは加法(同数累加)によって求められることを理解する。 | ・乗法の式の意味をもとに、その答えは既習の加法を用いて求めることができる と考える。 | |

| 段階 | 主な学習活動 | 学習集団 | 個のつまずきに応じた指導・援助 |
|------|---|------|--|
| 素材提示 | <p>復習をする (5 × 3)</p> <p>1. 素材提示をする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ドーナツが 3こずつ 入った パックが 4つあります。しきにあらわして、ぜんぶでなんこか考えましょう。 </div> | 全体 | C1: 5 × 3の式を立てることができない。 「一つ分」「いくつ分」を一緒に確認し、前時の言葉の式にそれぞれを当てはめ、立式させる。 ・素材提示後、立式のためのカードを配布する。  ...おはじき |
| 課題化 | <p>2. 素材を式に表す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはじきとカードを使い、一つのパックにいくつドーナツがあるか、それがいくつあるかを確認し、一つ分×いくつ分=全部の数という、言葉の式を提示し、立式させる。 ・式は、「3 × 4」です。 ・どうすれば答えを求められるだろう。 <p>3. 課題をつくる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 3 × 4の答えの出し方を考えよう。 </div> | 全体 | C2: おはじきをうまくカードに並べることができず、かけ算がイメージできない。 1つのパックにはいくつドーナツが入っているのかを一緒に確認し、3つずつ並べさせる。 C3: おはじきは並べたが、どんな式を立てればよいか分からない。 復習の「5 × 3」に立ち戻り、かけ算で式を立てることを確認させる。 |
| 課題追求 | <p>4. 答えの出し方を考える。</p> <p>(1) 順番に数える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはじきを一つ一つ数えて、12個を数える。 答え: 12個 <p>(2) おはじき (図) で考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3個のおはじきを4列並べる。 ・一つ分の大きさ(3)が4つ集まると12個になる。 答え: 12個 <p>(3) 3とびで数える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 6 9 12となる。 答え: 12個 <p>(4) たし算を使って求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 + 3 + 3 + 3 = 12 答え: 12個 | 個人 | C4: 式から答えを出すことができない。 おはじきで考えることを指示する。 C5: 答えは出した(一つ一つおはじきを数えて)が、どうしてその答えになるのか分からない。 ・パック一つにどれだけおはじきが乗っているのかを数えさせる。 ・パック一つで3個、2つで6個...と増えていくことを一緒に確認する。 C6: おはじきの考え方をノートに表すことができない。 おはじきの代わりに 図を使うことを指示する。 |
| 解決 | <p>5. 全体で考えを確かめる</p> <p>おはじきを使った考え方と3とびの考え方は、どちらも同じだということが分かる。 それをまとめると、3 + 3 + 3 + 3 = 12になることを確認する。</p> <p>6. まとめをする</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> 3 × 4の答えは、 3 + 3 + 3 + 3の計算の答えとおなじです。 </div> | 全体 | C4: おはじきを使った考え方がどうしてたし算になるか分からない。 教師と確認しながら、一つ分、いくつ分などの同じ部分を意識させる。 ・まとめの後、同数累加の方法を全員で改めて確認する。 |
| 一般化 | <p>7. 「同数累加を用いて乗法の答えを求める」評価問題を行う (P13 えんぴつ問題4)</p> <p>(1) の5つ分 必ずかけ算で (2) の2つ分 立式した後に (3) の3つ分 答えを出すよ (4) の6つ分 うにさせる。</p> | 個人 | ・評価問題については、1問1問、同数累加で求めることを確認しながら順番に解いていく。 C5: かけ算の式を立式することができない。 挿絵を示しながら、「一つ分」の数と「いくつ分」の数を意識させる。 C6: 数えられないので答えを求めることができない。 たし算の式を書かせ、同数累加を用いれば答えを求めることができることを確認させる。 |
| 評価 | <p>8. 自己評価をおこなう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りをする <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 評価 今日の学習で自分の考えを持つことが出来たか。(、 、) おはじきを数える方法と他の方法の同じ所を見つけ、かけ算の良さが分かった。(、 、) 評価問題が何問できたか。(3問以上、2~1問、0問) </div> | 個人 | |